
■ さろん | Mail News 2016/3/1 | #62 ■

(*Bcc でお送りしています)

これまで「さろん」にお申込・ご参加された方にご案内しています。
ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。

みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、

今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラムは執筆者の個人的な考えを表したものです。

会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。

予めご了承ください。

=====Vol.62 2016年3月1日(火)=====

さ | ろ | ん |

┌ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |

┌ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

INDEX

- ┌ 【お知らせ1】 さろん新規スタッフ募集中です
┌ 【1】 予約受付中：3/19 さろん哲学 第67回 テーマ：「アクション映画の映画らしさ」
┌ 【2】 予約受付中：3/10 朝さろん(57)『私小説』 / 〈日本語が亡びるとき(3)完〉
┌ 予約受付中：4/2 夜さろん第18夜「川上未映子『あこがれ』読書会(再演)」
┌ 【3】 準備中： — さろん工房
┌ 【4】 開催の報告：2/20 さろん哲学 第66回 テーマ：「自明とはどういうことか？」
┌ 【お知らせ2】 さろんラボ 002「哲学カフェ Ante-table」が開催されます
┌ 【5】 関連イベント情報
┌ 編集後記

CONTENTS

【おしらせ】(1)

さろん新規スタッフ募集

さろん運営スタッフ募集！

2010年に発足したさろんも5年が過ぎ、これを機に新しい運営スタッフを募集いたします。
さろんが好きな方、哲学カフェや対話イベントに興味のある方、
ぜひ私たちさろんの運営スタッフとして一緒に会を盛り上げていきませんか。

業務内容：現状のさろん運営に携わる業務

募集人員：若干名

募集期間：2016年1～3月

業務開始時期：2016年4月～

▽詳しい内容等は下記メールアドレスまでご連絡ください。

さろん salontetsugaku@gmail.com

【1】さろん哲学

第67回 テーマ：「アクション映画の映画らしさ」

第67回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2016年3月19日（土）15:00-17:00

テーマ：「アクション映画の映画らしさ」

進 行：野田

場 所：ラニカイテラス表参道

<http://www.lanikai-terrace.com/>

定 員：16名

参加費：ご飲食費のみ各自ご負担ください。

▽司会から：

最近、も一つ勢いが無いアクション映画。アクション映画の面白さ、
逆に好きでない人にとっては好きになれない理由を通じて、映画
ならではの魅力について考えます。

●会場が前回と異なりますので、ご注意ください。

●携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。

ご予約を受付け中です。

salontetsugaku@gmail.com (予約担当：ヤギ林)

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

さろん哲学は【原則、毎月第3土曜】開催です

【2】朝さろん／夜さろん

〈57〉『私小説—from left to right』水村美苗／テーマ：〈日本語が亡びるとき (3) 完〉
夜さろん第18夜『『あこがれ』読書会 ～作品の企みと、作家・川上未映子』

前回の開催報告、

朝さろん 〈56〉『さようなら、オレンジ』岩城けい、参加者8名。

開催の記録は「朝さろんの本棚」に掲載しています。

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2016/01/hondana_55.pdf

【朝さろん】

◆朝さろん ～シーズン第3回 (57th morning)

テーマ：〈日本語が亡びるとき (3) 完〉

日 時：2016年3月10日 (木) am6:50～8:00 頃

場 所：渋谷駅近く (ご予約時にご案内いたします)

参加費：500円 (資料代運営費)

本 　：『私小説—from left to right』水村美苗 (ちくま文庫, 2009)

定 員：8名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：芹澤

内 容：

▽シーズン第3回目、完結編です

▽ストーリー≪「美苗」は12歳で渡米し滞在20年目を迎えた大学院生。アメリカに溶け込まず、漱石や一葉など

日本近代文学を読み耽りつつ育ったが、現代の日本にも違和感を覚え帰国をためらい続けてきた。雪のある日、

ニューヨークの片隅で生きる彫刻家の姉と、英語・日本語まじりの長電話が始まる。異国に生きる姉妹の孤独

を通じて浮き彫りになるものとは…≫

【夜さろん】

◆第18夜

《『あこがれ』読書会 ～作品の企みと、作家・川上未映子》

日 時：2016年4月2日（土）14:00～17:00

場 所：渋谷の談話室を利用

定 員：12名程度（要予約）

進 行：芹澤

参加費：1500円（ワンドリンク+会場利用料）

本 本：『あこがれ』川上未映子（新潮社、2015）

内 容：

朝さろんではこれまで川上未映子の長編小説を丁寧に読んで来ました。

過去の長編はすべて会で取り上げて来たので、本作も取り上げてみています。

前回行った読書会での考察を踏まえ、さらに丁寧に作品と向き合い、本作に仕掛けられた企みについて話し合います。

あわせて、作家・川上未映子を形勢したもの、作家としての継続的な主題は何か、などについても自由に語り合ってみたいと思います。

.

過去の開催記録はこちらからご覧いただけます

▼第3長編『あこがれ』

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2016/01/yoru_hondana_17.pdf

▼第2長編『すべて真夜中の恋人たち』

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2014/06/hondana_36_repo.pdf

▼第1長編『ヘヴン』

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2014/03/hondana_31.pdf

以上、ご予約受付中です。

salontetsugaku@gmail.com （担当：芹澤）

過去の開催内容は、HPの「朝さろんの本棚」に掲載しています。

<http://salon-public.com/asa/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

【開催概要】

《朝さろん》原則、毎月第2木曜日（但し1月は第3木曜の場合もあり）

《夜さろん》原則、2月、5月、8月、11月の第3金曜日

【3】さろん工房

次回イベントを準備中です

9月のさろん5周年を迎えるにあたり、さろん工房でもなにか新しいことができないか、

と春先から志村工房長を交えて話し合いから生まれた「さろん工房β」。
無事に終了しました。

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。
現在のところ不定期開催となっておりますが、次回もどうぞお楽しみに。

さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。
お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>
salontetsugaku@gmail.com
<https://twitter.com/salontetsugaku>

—— 【4】 さろん哲学 ——
第66回 テーマ：「自明とはどういうことか？」

第66回さろん哲学を下記テーマで開催しました。

日 時：2016年2月20日（土）

テーマ：「どんなに疑っても絶対に疑いきれないものは何か？」*1

*1) 告知では、「自明とはどういうことか？」とお知らせしましたが、進行の都合から当日に上記問いに変更し、対話を進めました。

進 行：堀越

場 所：喫茶室ルノアール新宿区役所横店

参加者：10名

進行から：主に、A案（客観的に見える世界を疑い得ないとする考え）、および、B案（自身の中の窓から世界を観察する主体を疑い得ないとする考え）の二つについて総勢10名で考え、対話を深めました。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>
<https://twitter.com/salontetsugaku>

—— 【おしらせ】 (2) ——
さろんラボ 002「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」が開催されます

さろんラボ 002「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」が開催されます。

名 称：さろんラボ 002

「哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル」

主催者：オオゼキさん

4月にさろんラボから生まれる予定の新しい哲学カフェのプレカフェ（試行版）のご案内です。
進行役のオオゼキさんの色がでて、また新しい哲学カフェとなっています。
ぜひ、プレカフェに皆様の参加をお待ちしています。
また、実際に会が始動したら、今後も適宜このメールニュース等で開催のお知らせをしたいと考えています。

【哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル】

代 表： オオゼキ

テーマ：『夢の中での犯罪は悪か？』

日 時： 2016年03月19日(土) 12:00-14:00

場 所： 九段下・『ギャラリー冊』併設カフェ

人 数： 6名程度

費 用： 1000円（ハーブティ・お菓子付き）

進 行： オオゼキ ＊参加いただける方には詳しい案内メールをお出しします。

参加希望の方は下記メールアドレスへ申し込みをお願いします。

email： cafe.ante.table@gmail.com

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。
このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、
「さろん」を触媒にして、
どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。
さろんラボは当面継続して設けていきます。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の二つのイベントがうまれました。

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、
みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えて、

どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

[あたまの中を散歩するてつがくカフェ] 第22回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。

みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：2016年4月3日（日）10:00～12:00

テーマ：「どうして知りたくなるんだろう？」

運営・進行：くらち

会場：渋谷 or 新宿周辺のカフェ

定員：6～8名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※会場の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

ウェブサイト

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター

https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問

sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ：002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル]

テーマ：『夢の中での犯罪は悪か？』

日時： 2016年03月19日(土) 12:00-14:00

場所： 九段下・『ギャラリー冊』併設カフェ

人数： 6名程度

費用： 1000円 (ハーブティ・お菓子付き)

進行： オオゼキ *参加いただける方には詳しい案内メールをお出しします。
参加希望の方は下記メールアドレスへ申し込みをお願いします。

email : cafe.ante.table@gmail.com

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽哲学カフェ一覧

<http://seesaawiki.jp/dialogue/d/%c5%af%b3%d8%a5%ab%a5%d5%a5%a7%b0%ec%cd%f7>

▽人生カフェ

日時：平成28年3月12日(土) 13時30分～17時

場所： 新宿区榎町地域センター (地下鉄早稲田駅から徒歩10分)

<http://www2.odn.ne.jp/~hak91920/>

参加費用： 500円

テーマ：「私と他人とは何か」

事前予約： メールで本間まで mgasami.honma@gmail.com

定員： 12名

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽人生カフェ

日時：平成28年3月26日(土) 13時30分～17時

場所： 新宿区戸塚地域センター (高田馬場駅から徒歩2分)

<http://www.tcc-tokyo.net/>

参加費用： 500円

テーマ：「自分の人生上の悩みを話すカフェ」

事前予約： メールで本間まで mgasami.honma@gmail.com

定員： 12名

詳細： 詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話 “ねりテツ” 【3月】

(3/5) ◆ 「コラムで対話 ～街場の対話景色」

(3/19) ◇ 「詩を読む ～葛藤の正体を探る対話」

場所： がんばれ！子供村 2階（雑司が谷）

主催： 対話学舎えんたらいふ

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://msentalife.wix.com/entalife#!blank/cpu9>

▽こども哲学入門講座 / こども哲学実践講座

<http://ardacoda.com/event/160305kodomotetsugakukouza.html>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽西千葉・Moonlight Bookstore 哲学カフェ

<https://www.facebook.com/events/1160952653932415/>

▽現代哲学ラボ

<http://www.philosophyoflife.org/jp/lab/>

▽〈長池講義〉柄谷行人

<http://web.nagaike-lecture.com/>

▽東京国際文芸フェスティバル / Tokyo International Literary Festival

<http://tokyolitfest.com/program.php>

▽村上春樹の読書会 (Haruki.B.C)

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3169098

▽交換読書会@東京

<http://dokusyokai.com/>

▽横浜読書会

<http://kuribooks.com/>

▽大人のための子どもの本の読書会

<http://booksheepbook.hatenablog.com>

▽『史上最強の哲学入門』 飲茶 ●740 円

<http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309414133/>

▽科学技術に踏み込む人文・社会科学 | K.U.RESEARCH

<http://research.kyoto-u.ac.jp/gp/17/#activity1453>

▽『世の中ががらりと変わって見える物理の本』 カルロ・ロヴェッリ 竹内薫監訳
関口英子訳 1200 円

<http://www.kawade.co.jp/np/isbn/9784309253350/>

▽ノーベル賞受賞記念講演会「私たちはどこから来たのか? - ニュートリノのノーベル賞の先 -」

<http://www.ipmu.jp/ja/2016Nobel>

▽人生を変えたゲームと、ゲームが変えた人生——スゴ本オフ「ゲーム！」
わたしが知らないスゴ本は、きっとあなたが読んでいます

<http://dain.cocolog-nifty.com/myblog/2016/01/post-e1b8.html>

▽星空の下の仕事観。／ほぼ日刊イトイ新聞・

http://www.1101.com/job_study/iwata/2008-04-17.html

▽分析美学ってどういう学問なんですか——日本の若手美学者からの現状報告

<http://synodos.jp/culture/16122>

▽岸政彦『断片的なものの社会学』（朝日出版社）

http://www.asahipress.com/bookdetail_norm/9784255008516/

▽あふれる「境界」の狭間を広げる対話とは？—「東京迂回路研究」の実践

<http://m.huffpost.com/jp/entry/8959388>

▽「丸山眞男」をひっぱたきたい

<http://t-job.vis.ne.jp/base/maruyama.html>

▽「保育園落ちた日本死ね」と叫んだ人に伝えたい、保育園が増えない理由

<http://www.komazaki.net/activity/2016/02/004774.html>

▽わたし、想像以上に、しんどい。 これで伝わる！妻から夫への『大変さ』の伝え方

<http://akasugu.fcart.jp/taikenki/entry/2016/02/10/special0170>

▽Like A Silicon Valley — 家族がいる起業家の働き方

<http://likeasiliconvalley.tumblr.com/post/122075041153/%E5%AE%B6%E6%97%8F%E3%81%8C%E3%81%84%E3%82%8B%E8%B5%B7%E6%A5%AD%E5%AE%B6%E3%81%AE%E5%83%8D%E3%81%8D%E6%96%B9>

▽VERY 妻になりたかった母の死から学んだこと | AM 「アム」

<http://am-our.com/love/218/12903/>

▽そうか、女の人ってこういう経緯でスピリチュアルにハマるのか『更級日記』『竹取物語』が凄すぎる

<http://a.excite.co.jp/News/reviewbook/20160116/E1452878427217.html>

▽身体哲学ファイル LOGOシリーズ「傾舞 (kabukumai)」沙胡 (sako)

<https://roundtown.com/osaka#page=1&dateRange=This%20Week&lat=34.69374&lng=135.50218&z=10>

▽がん哲学外来

<http://www.gantetsugaku.org/concept.php>

▽李珍景 影本剛訳『不穏なるものの存在論』(インパクト出版会)

<http://bit.ly/1PnNPbd>

▽レクチャー「栄養と行動」

<https://www.youtube.com/watch?v=ZUsC1h06OJ0>

▽好きなことを共有しよう！“部活”ができるブックカフェ「福岡天狼院」

<http://co-trip.jp/article/44409/>

▽銭湯に図書館

<https://www.facebook.com/events/1098464570175503/>

▽新しいアートフェス

<http://www.art-annual.jp/news-exhibition/news/56956/>

▽大人の文化祭

<http://www.lhooq7.com/about>

▽「職場で愛される人」は会話にコツがある！

<http://toyokeizai.net/articles/-/61470?display=b>

▽長時間労働て必要??

http://biz-journal.jp/i/2016/02/post_13583_entry.html

▽都市と森のつなぎ役 札幌芸術祭森関連求人

<https://t.co/Ez28V2PDbH>

▽渋谷 TSUTAYA×WIRED

<http://www.shibuyabunka.com/phone/blog.php?id=751>

▽面白い本屋さん特集

<https://metimes.jp/articles-117>

◎密着ドキュメント◎ “さろん営業中”

2月5日

定例スタッフミーティング@新宿。活動も6年目となり、どうしても生じる固定化した考え方や関係性をもう一度見直し、いつも柔軟で、「問い」に向き合える為にも「新スタッフを迎え入れるのは大事だよ」という話とか、さろんラボからの新しいイベントの話とか。さろんの予算計画の話とか。いま変わり始めないと、という雰囲気が満ちているのは春が近づいているからでもあるのでしょうか。まだまだ課題も山積していますが、日々漸進でがんばっています。

2月18日

読書会（朝さろん）@渋谷。『さようなら、オレンジ』は豪に移住後、英語で創作を試みる女性の物語。英語が話せず、文化や人種の壁に苛まれ、果ては幼い娘を亡くした彼女が、大学で創作を学んだりしながらも結果的に「日本語で執筆する」に至る背景を描いた作品。それが必然であることを説得力豊かに物語るのですが、もう一つのテーマが「女性の人生、生き方」でした。両者が分からなく結びついた佳作を、みんなで読み、対話しました。

2月20日

哲学カフェ（さろん哲学）@新宿。テーマは「自明であるとはどういうことか」。テーマは一つでも、参加者それぞれの思考のスタートラインは大きくことなりますよね。それらを共通のまな板の上に載せて、テーマについての思考をみんなで深めていくことは、決して簡単なことではありません。まして「自明」なんていう、デカルトを想起させる哲学ど真ん中のテーマですからね。それでも2時間一生懸命に向き合うことで生まれるなにか、というものは確かにあるのだと思います。真剣に考えることから生成される何か。

2月のまとめ

スタッフを迎え入れるにあたって「それはなぜ?」「迎えるために自分たちがしなければならないことはないかなに?」ということがMTGでよく話し合われるようになりました。アルバイトを雇うわけではない。新しい仲間を迎え入れるわけで、私

たちも変わらなければいけない。そういう変化を、じつは一番求めているのではないかな、なんて思ったりしています。信頼できる誰かの手を借りなければできないことって、ありますよね。

編集後記

メールニュース第 62 号をお届けします。

昨日はうるう年の 29 日でしたね。
次にこの日がやって来るのは 4 年後の 2020 年。
東京五輪の年、そして「さろリンピック」の年。
すぐそこまで来てるんだなーと感じますね。

いよいよ 3 月、年度末です。
桜の開花予想にそわそわする時期がまたやって来ました。
そして一部の方は花粉でフガフガされているのでは？
そわそわもフガフガも、さみしさもうれしさも、春には変化が付き物です。
新鮮な風をからだに感じて、毎日を過ごせるといいですよ。
今号のメールニュースもぜひお役立てください！

さろんで一緒に活動してくれる新スタッフもまだまだ募集中です。
現状すごくお忙しかったり、本当に参加できるかご懸念のある方もいらっしゃると思います。
少しでもご興味のある方はどうぞ遠慮なくメールをください！
「アナタが興味を持ってくださった」という原点を大事にして、
話し合いをしたいと考えています。
フクロウが首を長くしてお待ちしています。

それではまた次号でお会いしましょう。
編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2016/3/1
⇒次号 (3 月 15 日発行予定)

さろん Mail News 第 62 号 / 2016 年 3 月 1 日発行
編集・発行: さろん
salontetsugaku@gmail.com
http://salon-public.com/
https://twitter.com/salontetsugaku/

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、
当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。 転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHP からご覧いただけます。
- ◇ 【さろんツイッター】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【さろんパブリック】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."
